

バスやブルーギル回収

都城に外来魚ポスト



河川の生態系に被害を与える外来魚を引き取る「お魚ポスト」が、都城市内町に設置された。祝田淡水業社長の祝田穂さん(68)＝同市都島町＝が「昔ながらの川を次世代に残した

外来魚から川を守ろうと設置した「お魚ポスト」

祝田 生態系保護へ活用を

い」と設置、ポストの活用を呼び掛けている。

祝田さんによると、同市周辺の淀川などで約15年前から、特定外来生物に指定されているブラックバスをはじめ、ブルーギルやカミツキガメなどが増加。かつて県外のファンも訪れて釣っていたオイカワも捕食されるようになり、在来のイシガメと同様に激減しているという。

これまでも引越などでお魚がなくなった外来魚などを引き取ってきた祝田さんは、飲食と釣り堀ができる「河の駅」のオープンに合わせて「ポスト」を設置。魚の大きさに合わせた大小の水槽やタンク計7個を置いた。外来魚や自宅でお魚がなくなった観賞用の魚などを無料で収容する。

特定外来生物は外来種被害防止法で放流、飼育が禁止されている。祝田さんは「外来魚は繁殖力が強く、このままでは在来種がいなくなってしまう。川に放さないでほしい」と呼び掛けている。

小業

山本勝カニツガニ
サワガニ
天然スッポン
その他淡水魚一式

お魚ポスト

ブルーバス アムール タイギョ
アサリカサリガニ
祝田 淡水業